

本講座について（よくいただくご質問と回答）

Q	初めての経理担当なので「初級」を申し込みますが、簿記の知識がないので、ついていけるか不安です。
A	「初級」とあわせて入門コースへの申込をお勧めします。入門コースは、簿記の学習経験や、会計実務経験がない方等を対象に、仕訳の基礎を3日間で集中的に学習しますので、「初級」の受講効果をより高められます。また、演習に多くの時間をとりますので、実際に手を動かすことで学習内容の定着が図れます。
Q	入門コースの受講のみで、社会福祉法人の会計実務を理解したことになりますか。
A	入門コースは仕訳の基礎を学ぶことが目的ですので、社会福祉法人会計の実務を一通り把握するには、「初級」以降の通信課程の受講が必要です。入門コースは「初級」の講師が担当するため、「初級」の通信授業やスクーリングとつながりがあります。「初級」を続けて受講することで、入門コースで学んだことを活かすことができます。できれば同一年度内にあわせて受講することをお勧めします。
Q	会計について、一定の知識と経験はありますが、基礎の復習をしたいので、「初級」を受けられますか。
A	ご本人の習熟度、役割やニーズに応じて、各コースは任意にお選びいただけます。また、「今年は初級、来年は中級」というようにステップアップを図ることもできます。なお、同じコースを再度受講することも可能です。
Q	通信授業が終わってからスクーリングを行う理由は何ですか。
A	本講座は、通信授業でテキストを一通り学び、ご自身が難しかったと感じたところ、もっと深く学びたいというポイントを定めて、スクーリングに臨んでいただくことにより、単発の研修よりも大きな成果を得ていただくことをめざしています。なお、全コースでは「質疑応答」の時間を設けているため、テキストや講義に関する質問に対し、講師から直接回答をいただくこともできます。

【過去の受講者の皆様からの声】

入 門

- ・「資産、負債、純資産、収益、費用」の仕訳のルールの解説が特にわかりやすかった。
- ・基礎となるところをしっかりと教えていただいた。初級コースの前に受講させていただき本当に良かったと思った。
- ・初級コースの前に受けて初級コースに向けて、良い準備になった。



初 級

- ・一取引二仕訳の考え方についてわかりやすく解説していただいた。
- ・国庫補助金等特別積立金のうち減価償却に対応する分を取り崩す理由についての説明がとてもわかりやすかったです。
- ・質疑応答で他の方の質問もとても参考になった。



中級（社協）

- ・決算書の見方は大変勉強になった。帰ったら自分の社協の決算書を勉強しようと思う。
- ・税務を学ぶ機会がこれまでなかったので、日々の業務とルールを関連付けられた。
- ・根拠法令等を確認しながら学ぶことができたので、今後の業務の参考になった。



中級（施設）

- ・内部取引の解説がとても参考になった。
- ・普段、会計ソフトが自動的に作成していた帳票類がどのように作成されていたのか深く理解できた。
- ・日ごろから会計の勉強を計画的に行う必要があることを、この研修で実感した。



上 級

- ・様々な財務分析の手法を、演習を通して体験できた。
- ・とても新鮮な情報で、知識・技術を学ぶことができ、自己啓発にもなり、ありがたかった。
- ・グループ討議でいろいろな考えにであい、良い経験になった。